



平成27年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月10日

上場会社名 株式会社プレナス 上場取引所 東  
 コード番号 9945 URL http://www.plenus.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)塩井 辰男  
 問合せ先責任者 (役職名)経営管理室長 (氏名)廣藤 明 (TEL)092(452)3678  
 四半期報告書提出予定日 平成26年7月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第1四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第1四半期	39,287	3.6	2,006	6.6	2,115	△6.6	1,206	△10.4
26年2月期第1四半期	37,925	8.3	1,882	21.0	2,266	37.2	1,345	49.7

(注) 包括利益 27年2月期第1四半期 1,186百万円(△12.1%) 26年2月期第1四半期 1,349百万円(51.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第1四半期	31 57	31 54
26年2月期第1四半期	35 22	35 19

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第1四半期	86,430	60,750	69.9
26年2月期	86,208	60,406	69.9

(参考) 自己資本 27年2月期第1四半期 60,443百万円 26年2月期 60,218百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	25 00	—	25 00	50 00
27年2月期	—				
27年2月期(予想)		25 00	—	25 00	50 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	77,500	2.6	4,000	4.4	4,100	△2.3	2,400	△3.3	62 80
通期	158,000	4.6	9,200	15.8	9,500	8.9	5,500	9.6	143 91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期1Q	44,392,680株	26年2月期	44,392,680株
② 期末自己株式数	27年2月期1Q	6,174,490株	26年2月期	6,174,490株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期1Q	38,218,190株	26年2月期1Q	38,210,154株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※ 四半期決算補足説明資料の入手方法について

- 四半期決算補足説明資料は、平成26年7月10日(木)に当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する説明	P. 2
(2) 連結財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	P. 7
四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、4月の消費税率引上げ以降、駆け込み需要の反動が見られるものの、設備投資の増加、企業収益や雇用環境の改善等により緩やかな回復基調が続きました。

当外食産業におきましては、企業間の厳しい競争が継続する中、消費税率引上げによる影響が懸念されたものの、売上高に与える影響は軽微に留まり、底堅く推移しております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、引き続き新規出店を推進すると共に、店舗のQSC(品質、接客、清潔感)向上、商品力の強化、効果的な販売促進活動の展開に努めました。また、「ほっともっと事業」においてフランチャイズ展開を推進すると共に、「やよい軒事業」においても加盟店の募集を開始し、さらなる営業基盤の強化に向けて、活動いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、392億87百万円(前年同期比3.6%増)、営業利益は20億6百万円(前年同期比6.6%増)、経常利益は21億15百万円(前年同期比6.6%減)、四半期純利益は12億6百万円(前年同期比10.4%減)となりました。売上高につきましては、新規出店により店舗数が増加したことや既存店売上高が堅調に推移したことが主な要因で、前年同期実績を上回りました。営業利益につきましては、売上高の伸長に加え、仕入れコストの改善等により、前年同期実績を上回りましたが、経常利益及び四半期純利益につきましては、為替差益が減少したことが主な要因で、前年同期実績を下回りました。

## [国内における店舗展開の状況]

	前連結会計 年度末	新規出店	退店	当第1四半期 連結累計期間末	改装・移転
ほっともっと	2,692店	28店	13店	2,707店	24店
やよい軒	247店	11店	1店	257店	2店
MKレストラン	32店	—	1店	31店	—
合計	2,971店	39店	15店	2,995店	26店

## [海外における店舗展開の状況]

	展開エリア	前連結会計 年度末	新規出店	退店	当第1四半期 連結累計期間末
ほっともっと	中国	5店	—	—	5店
	韓国	4店	—	1店	3店
やよい軒	タイ	115店	4店	—	119店
	シンガポール	4店	—	—	4店
合計	—	128店	4店	1店	131店

セグメントの業績は次のとおりであります。

## 【ほっともっと事業】

定番商品である「かつ丼」や「幕の内弁当」について、素材にこだわり品質を高めるリニューアルを実施すると共に、店内調理による手づくりの特長を生かした商品を提供し、競合店との差別化を図りました。

消費税率の引上げに際しましては、主要商品の税込み価格を据え置くことで商品価値を高め、お客様に安心してご購入いただけるよう努めました。

また、引き続き「ユニットFC制度」によるフランチャイズ展開の推進に注力し、新規オーナーの獲得及び既存オーナーの多店舗化に積極的に取り組んだ結果、加盟店は順調に増加しております。

これらにより、既存店売上高は、前年同期比102.2%となりました。

以上の結果、売上高は、315億52百万円(前年同期比1.5%増)、営業利益は15億84百万円(前年同期比3.2%増)となりました。

**【やよい軒事業】**

素材や手作り感にこだわった定食メニューをお手頃な価格で提供することを基本に、季節感を取り入れたメニューを発売し、他店との差別化を図りました。また、お客様に快適にご利用いただけるよう、店舗のQSCの向上に努めると共に、テレビCMの放映やディスカウントキャンペーンを効果的に実施し、お客様の来店促進を図りました。

また、やよい軒事業において、本格的にフランチャイズ展開を推進するため、加盟者の募集を開始しました。

これらにより、既存店売上高は、前年同期比105.6%と好調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は68億79百万円(前年同期比16.2%増)、営業利益は4億73百万円(前年同期比28.8%増)となりました。

**【MKレストラン事業】**

「MKレストラン」全店で、豊富な具材と個性豊かな3種のスープが選べる「MK鍋」に、本格飲茶や一品料理も取り揃え、より多くのお客様にお楽しみいただけるメニューに一新いたしました。また、店舗のQSCの向上に努めると共に、テレビCMを放映する等お客様の来店促進を図りましたが、既存店売上高は、前年同期比97.6%にとどまりました。

以上の結果、売上高は8億55百万円(前年同期比6.4%減)、営業損失は17百万円(前年同期は11百万円の営業利益)となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間より、報告セグメントの名称を「しゃぶしゃぶダイニングMK事業」から「MKレストラン事業」に変更しております。

**(2) 連結財政状態に関する説明****資産、負債及び純資産の状況**

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2億21百万円増加し、864億30百万円となりました。内訳は、流動資産が10億60百万円増加したこと、固定資産が8億39百万円減少したこととあります。流動資産の増加は、現金及び預金が4億23百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が3億50百万円増加したこと、商品及び製品が3億14百万円増加したことなどによるものです。また、固定資産の減少は、有形固定資産が3億48百万円増加したこと、投資その他の資産が11億59百万円減少したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ1億21百万円減少し、256億79百万円となりました。内訳は、流動負債が11億24百万円増加したこと、固定負債が12億45百万円減少したこととあります。流動負債の増加は、支払手形及び買掛金が18億49百万円増加したことなどによるものです。また、固定負債の減少は、訴訟損失引当金が13億39百万円減少したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3億43百万円増加し、607億50百万円となりました。これは、利益剰余金が四半期純利益により12億6百万円増加したこと、剰余金の配当により9億55百万円減少したことなどによるものです。

**(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明**

平成27年2月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成26年4月11日に公表いたしました予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間において主要な関係会社の異動はありません。なお、当第1四半期連結累計期間において、北京好麦道餐飲管理有限公司(中国)は、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	24,138	24,562
受取手形及び売掛金	2,577	2,928
商品及び製品	4,959	5,273
原材料及び貯蔵品	38	56
その他	2,958	2,892
貸倒引当金	△212	△191
流動資産合計	34,460	35,521
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	24,320	24,670
その他(純額)	9,657	9,655
有形固定資産合計	33,978	34,326
無形固定資産		
	372	344
投資その他の資産		
その他	17,413	16,253
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	17,397	16,237
固定資産合計	51,747	50,908
資産合計	86,208	86,430
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,059	6,908
未払法人税等	1,898	801
賞与引当金	312	689
ポイント引当金	96	97
株主優待引当金	93	59
資産除去債務	12	46
その他	8,413	8,407
流動負債合計	15,886	17,010
固定負債		
訴訟損失引当金	1,339	-
資産除去債務	4,129	4,153
その他	4,445	4,516
固定負債合計	9,915	8,669
負債合計	25,801	25,679

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,461	3,461
資本剰余金	4,916	4,916
利益剰余金	63,875	64,084
自己株式	△12,035	△12,035
株主資本合計	60,218	60,427
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	△3
為替換算調整勘定	-	19
その他の包括利益累計額合計	△0	15
新株予約権	188	188
少数株主持分	-	118
純資産合計	60,406	60,750
負債純資産合計	86,208	86,430



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
売上高	37,925	39,287
売上原価	17,370	18,111
売上総利益	20,554	21,176
販売費及び一般管理費	18,671	19,170
営業利益	1,882	2,006
営業外収益		
受取利息	12	13
受取配当金	0	6
為替差益	312	3
固定資産賃貸料	36	38
持分法による投資利益	4	4
その他	31	64
営業外収益合計	399	131
営業外費用		
固定資産賃貸費用	12	14
その他	3	7
営業外費用合計	15	21
経常利益	2,266	2,115
特別利益		
固定資産売却益	0	4
特別利益合計	0	4
特別損失		
固定資産処分損	44	76
減損損失	20	93
その他	6	1
特別損失合計	71	171
税金等調整前四半期純利益	2,194	1,949
法人税等	848	747
少数株主損益調整前四半期純利益	1,345	1,201
少数株主損失(△)	-	△4
四半期純利益	1,345	1,206

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,345	1,201
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	△3
為替換算調整勘定	-	△11
その他の包括利益合計	3	△15
四半期包括利益	1,349	1,186
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,349	1,196
少数株主に係る四半期包括利益	-	△10

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ほっとも っと事業	やよい軒 事業	MKレスト ラン事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高 (その他営業収入 を含む)	31,092	5,919	913	37,925	—	37,925
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	31,092	5,919	913	37,925	—	37,925
セグメント利益	1,535	367	11	1,914	△32	1,882

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ほっとも っと事業	やよい軒 事業	MKレスト ラン事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高 (その他営業収入 を含む)	31,552	6,879	855	39,287	—	39,287
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	31,552	6,879	855	39,287	—	39,287
セグメント利益又は損失 (△)	1,584	473	△17	2,041	△35	2,006

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 当第1四半期連結累計期間より、報告セグメントの名称を「しゃぶしゃぶダイニングMK事業」から「MK レストラン事業」に変更しております。なお、セグメント名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。